

★ちば県議会だより

党派等別議員数

党派等名	議員数	議員数
自由民主党千葉県議会議員会	自民党	50人
立憲民主党千葉県議会議員会	立憲民	15人
公明党千葉県議会議員団	公明党	8人
日本共産党千葉県議会議員団	共産党	4人
千葉政策議員団	千政団	4人
国民民主党千葉県議会議員会	国民	2人
平和の党	平和党	1人
千葉県民の声	県民声	1人
千葉新政会	新政会	1人
北総タッシュの会	北総タ	1人
リベラル民主	リベ民	1人
市民ネットワーク	市民ネ	1人
市民力	市民力	1人
有志の会	有志	1人
無所属議員	無所属	4人

定数95人 現員95人 (令和5年7月12日現在)

県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行 千葉県議会 編集 千葉県議会事務局政務調査課 千葉県中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話 043(223)2523 FAX 043(222)4073 千葉県議会 検索



6月定例会議会の

あらまし

6月定例会議会は、6月16日に招集され、7月12日までの27日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の諸般の報告に続き、条例の制定など議案9件、報告16件が上程され、知事から提案理由説明と当面する諸問題等について報告がありました。

6月22日から7日間にわたり行われた代表質問および一般質問は、24名の議員が登壇し、知事の政治姿勢をはじめ、財政問題、防災対策、福祉、道路、教育問題等について活発な議論が展開されました。

各常任委員会は、7月4日から4日間にわたり開催され、付託された議案・請願について具体的・専門的な審査が行われました。

閉会日には、各常任委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、議案については原案のとおり可決されました。

その後、追加上程された人事案件1件が同意され、続いて、議員発議案(意見書)22件のうち3件を可決し、今定例会に付議された全ての案件の審議を終了しました。

代表質問

6月22日(木)



自民党 滝田 敏幸 議員 (印西市・印旛郡栄町)

- 鉄道問題
- 社会的養護の推進
- 外来水生植物対策
- 飲酒運転の根絶
- 農林水産業の振興
- 教育問題



立憲民 入江 晶子 議員 (佐倉市・印旛郡酒々井町)

- カーボンニュートラルについて
- 子どもの権利擁護
- 県立病院の医師確保と定着
- 新規就農者の定着促進
- 印旛沼流域の治水対策
- 教員の未配置について



公明党 秋林 貴史 議員 (松戸市)

- 医療・福祉
- 子育て・教育支援
- 高齢者支援
- 経済活性化
- 物価高対策
- 交通安全対策

6月23日(金)

可決・同意された議案

◆条例の制定

- ▽特定都市河川浸水被害対策法に基づく雨水貯留浸透施設等の標識の設置に関する条例
- ◆条例の一部改正(4件)
- ▽千葉県県税条例
- ▽千葉県県税条例
- ▽使用料及び手数料条例
- ▽児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等
- ▽職業能力開発校設置管理条例及び千葉県立障害者高等技術専門

可決された意見書

- ◆その他(5件)
- ▽校設置管理条例
- ▽契約の締結(2件)
- ▽契約の変更
- ▽財産の取得
- ▽教育委員会委員の任命同意
- ▽硬膜外自家血注入療法に対する適正な診療上の評価を求める意見書
- ▽国における令和6年度教育予算

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は千葉県議会ホームページに掲載しています。
千葉県議会 質問項目 6月 検索

拡充に関する意見書

▽特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書



千葉県議会を紹介した動画を作成し、ホームページに掲載しましたので、ぜひご覧ください! DVDの貸し出しも行ってます!
<ホームページアドレス>
<https://www.pref.chiba.lg.jp/gikai/index.html>

千葉県議会公式 ツイッター・フェイスブック

県議会の情報を随時配信していますので、ちば議会だよりと合わせて、ぜひご覧ください。

【ツイッター】

<https://twitter.com/chibakengikai>



【フェイスブック】

<https://www.facebook.com/chibakengikai>



「千葉交響楽団」議場演奏



6月定例会議会の開会に先立ち、千葉県唯一のプロのオーケストラである千葉交響楽団による演奏会が本会議場で開催されました。本県にゆかりのある曲など4曲が演奏されました。

代表質問から



鉄道問題

問 JR久留里線久留里・上総亀山間に係る検討会議について、今後、県はどのように議論を進めていくのか。

答 県では、JR久留里線久留里・上総亀山間沿線地域交通検討会議や市主催の住民説明会において、地元の人々から率直な気持ちや意見などを直接聞いてきた。

住民説明会では、久留里線の存続を求める声が多かった他、鉄道がなくなることによる観光面での影響、現行の運行本数や乗り継ぎに対する不満など、さまざまな意見があった。

県としては、こうした地元の人々の意向を踏まえながら、地域の活性化や沿線住民の利便性の向上につながる地域公共交通の在り方について、交通の専門家も含めて構成する検討会議の場において、引き続きしっかりと議論を進めていく。

当たっては、今年度から、里親確保の活動や里親希望者への対応、研修や訪問支援を一貫して効果的に実施する包括的な里親支援体制を整えた。

また、専門的な支援が可能であり、ケアニーズの高い児童の受け入れや里親支援を行う児童養護施設については、増設や家庭的な環境の整備を進めているところであり、本年7月には定員30名の児童養護施設が新規に開所する予定である。

今後も、社会的養護の取り組みのさらなる推進を図っていく。

外来水生植物対策

問 ナガエツルノゲイトウの拡大防止に向け、県はどのように取り組んでいくのか。

答 県では、これまで比較的規模の大きい群落が存在する湖沼や河川を中心に駆除に取り組み、拡大防止を図ってきたところであるが、取水・排水を通じた水路と農地の間での移動・拡散などによる農業被害を未然に防止することも重要と考えている。

このため県では、湖沼や河川における駆除の取り組みはもとより、今年度から新たに、市町村や土地改良区が管理する農業用の水路等での駆除に要する経費に助成するとともに、水田においては、ネットを用いた給水栓での流入対策や農薬散布による駆除方法について周知を図っている。

今後も、庁内連絡会議での情報共有や市町村・関係団体等とのさらなる連携を図りながら、湖沼や河川、農業水路などにおいて繁茂の場所や規模に応じた防除対策を行うなど、全庁を挙げて繁茂の拡大防止と被害の未然防止に取り組んでいく。

飲酒運転の根絶

問 飲酒運転根絶条例の改正を受け、県はどう取り組んでいくのか。

答 条例の改正により、飲酒運転により検挙された者について、その酒類を提供した飲食店や勤務先へ通知を行うとともに、通知を受けた飲食店等には飲酒運転防止措置の実施義務が課されることから、これまで以上に、飲食店等と連携し、飲酒運転の根絶に取り組んでいく必要がある。

そのため、条例の改正内容について、ラジオCMやチラシ、ポスターなどにより広く周知徹底し、県民の意識の醸成を図るとともに、飲酒運転根絶宣言制度の普及などにより飲食店や事業所の主体的な取り組みの拡大につなげていく。

さらに、県や市町村、関係団体の代表者等による連絡協議会において、飲酒運転根絶計画の策定に取り組み、県民総ぐるみで「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない」環境づくりを進めていく。

農林水産業

問 県産農林水産物の輸出拡大に向けて、今後どのように取り組んでいくのか。

答 県では、これまで東南アジアを中心としたプロモーションの他、海外バイヤーを招聘した商談会や輸出セミナーの開催、見本市への出展支援などに取り組み、水産などの事業者が主体的に輸出に取り組む事例が生まれている。

一方、煩雑な貿易関係手続きに加え、海外のバイヤーが求める必要な数量や規格サイズへの対応、輸送面での温度管理等の他、輸出先の流通の仕組みに関する知識不足などの課題も明らかになってきた。

今後は、新たな輸出先や品目の開拓等に向けた市場調査を行った上で、生産から流通・販売に至るまでの各段階における取り組みを強化するとともに、輸出の拠点機能を備えた成田市や県内の関係団体とも連携し、県産農林水産物の輸出拡大に取り組んでいく。

教育問題

問 入学者選抜における採点誤りについて、改善検討会議の提言を受け、再発防止にどう取り組んでいくのか。

答 採点誤りは、受検者の進路や人生に関わる重要な問題であり、決してあってはならないものである。今回の誤りについて、受検者、保護者はじめ、関係者にあらかじめお詫びする。県教育委員会では、このような誤りを二度と繰り返さないようにするため、外部有識者による改善検討会議を立ち上げ、専門的知見から意見をもらった。

同会議からは、誤りの原因として、採点者の集中力の低下や慣れに加え、複雑な配点による採点のしにくさ等が指摘された。また、誤りの多くが人為的なものであることから、人為的ミスが生じにくいマークシートやデジタル採点システムを導入すべきとの提言があった。

県教育委員会としては、この提言を踏まえ、採点の正確性の確保や、採点者が集中できる環境づくりなど、具体的な改善策を速やかに検討し、全ての高等学校と一丸となって再発防止に取り組んでいく。

千葉県不登校児童生徒の教育機会確保の確保を支援する条例の施行を踏まえ、県はどのように取り組んでいくのか。

不登校児童生徒の教育機会を確保するためには、学校復帰のみを目標としないなど、本条例の理念について、支援に携わる関係者はもとより、広く県民の理解を深めるとともに、関係者相互の密接な連携の下、一人一人の状況に応じた支援を行っていくことが重要である。

そのため、県教育委員会では、フリースクール等での効果的な取り組み事例を学校に周知するとともに、特別な教育課程の編成が可能な不登校特別校の先進事例を視察し、県内で設置を検討している自治体に助言するなど支援を行っている。

さらに、不登校児童生徒の教育機会の確保に関する施策を総合的に推進する基本方針の策定に向け、フリースクールや保護者、学識経験者などで構成する連絡協議会において、年度内に原案をまとめる予定であり、今後は、関係機関との連携をさらに強化し、不登校児童生徒への支援をより一層推進していく。

カーボンニュートラル

問 カーボンニュートラルを進めるため、本県でもESG債の発行に取り組むべきと思うかどうか。

答 カーボンニュートラルに向けて、近年、民間企業ではESG分野への関心や投資ニーズが高まっており、地方公共団体においても、環境施策等の財源とする地方債である「ESG債」を発行することで、より低い金利で資金調達できる状況となっている。

このため本県では、今年度中に「ESG債」を発行することとしており、現在、発行時期・規模の検討や対象事業の選定など、具体的な事務作業を進めている。

また、共同発行市場公募地方債においても、今年度後半に「ESG債」の一つである「グリーンボンド」を発行する予定であり、本県も参加することとしている。

そのため今年度は、民間企業のノウハウを生かし、教員のやりがいや楽しさを具体的に紹介する動画を配信するとともに、就職・転職希望者向けのサイトや企業等主催のイベントを活用するなど、効果的なプロモーション活動を展開していく。

また、働き方改革の推進に向けて、小中学校に協力して長い長時間勤務の要因となっている業務や教員の意識について、民間の調査員の視点で把握、分析し、業務の見直しや効率化につなげることで、教員が働きやすい職場環境づくりを進めていく。

ヤングケアラー

問 ヤングケアラーに関する実態調査の結果と、結果を受けての今後の取り組みはどうか。

答 県が昨年度実施した実態調査のアンケートにおいては、お世話をしている人が「いる」と回答した子どものうち、誰かに相談した経験がある子どもは、小学6年生で8.2%、中学2年生で6.8%、高校2年生で9.1%にとどまり、子どもたちの自発的な相談が少ない現状が判明した。

このような子どもたちを適切な支援につなげるためには、本人はもとより、学校など日常的に子どもが関わる場において気付き、相談できる体制をつくる必要がある。

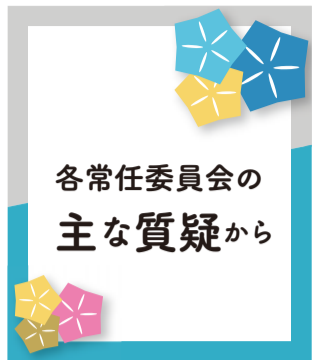
そのため県では、本年5月に、ヤングケアラーに関するSNS相談を開始し、支援のパイプ役となるコーディネーターが相談に応じている。引き続き、教育、福祉、介護、医療等の関係機関と連携し、本人や家族の事情に寄り添った支援に取り組んでいく。

社会的養護の推進

問 社会的養護の推進について、県では今後どのように取り組んでいくのか。

答 県では、千葉県子どもを虐待から守る基本計画に基づいて、一時保護からの家庭復帰が困難な子どもの養育などのため、里親委託の推進や児童養護施設の整備に取り組んでいる。

このうち、里親委託の推進に



総務防災常任委員会

消防団員の負担軽減のために、消防操法大会の見直しが必要ではないか。

今年度、全ての消防団員を対象に、活動に関するアンケート調査を予定しており、その結果も踏まえて、県操法大会の在り方等について検討を進める。

総合企画企業常任委員会

成田空港周辺の地域づくりをどのように進めていくのか。

四者協議会で策定した「実施プラン」に基づき、住環境や空港アクセスの整備などを着実に進め、周辺地域全体の発展を図っていくこととしている。

健康福祉常任委員会

抗インフルエンザウイルス薬ゾフルーザを購入すること

特に、産業面では、地域未投資促進法の弾力的な運用を生かした物流拠点の形成の他、成田空港の強みを生かせる企業の立地可能性などの調査・検討を行っていく。

とで、備蓄目標を達成することはできるのか。

今回、ゾフルーザを購入することで、本県で備蓄することとされている備蓄目標を達成することができ。なお、目標量は、医薬品ごとに決められているところであり、現在備蓄しているものの有効期限等を考慮しながら、計画的に購入していく。

環境生活警察常任委員会

県立中央博物館分館海の博物館の駐車場を、令和5年4月から勝浦市にどのような経緯で無償貸し付けをするかとしたのか。

海の博物館前の海岸にオープンした観光施設が夜間運営することに伴い、勝浦市から市営駐車場として運営したい旨の要望を受け、来訪者の利便性の向上や地域の活性化、また、当博物館への集客も増加が期待されるため無償で貸し付けることとした。

商工労働常任委員会

高等技術専門校の名称を変更し、入校促進を図ることだが、課題は何と考えているか。

また、今後、どのような方法で課題に対応していくのか。

高等技術専門校については、その存在や魅力を十分に周知できていないこと、訓練内容の見直しや施設の老朽化対策が必要などが課題である。

対応策の一つとして、名称をより覚えやすく親しみやすい「テクノスクール」へと変更し、認知度の向上を図るとともに、訓練科の新設やそれに伴う施設整備に取り組みなど、さらなる機能強化も実施していく。

農林水産常任委員会

農業用水路に繁茂したナガエツルノゲイトウの適切な処分方法等について、県は、広く周知していくべきではないか。

ナガエツルノゲイトウは特定外来生物に指定され、運搬等が禁止されていることから、土地改良区等に対して、駆除方法や拡散防止の注意点について周知を行っており、今後も施設管理者に対する会議等の場を通じて周知していく。

県土整備常任委員会

一宮川流域の治水対策の強化として、特定都市河川浸水被害対策法を活用することだが、どのような効果が期待できるのか。

特定都市河川等に指定することで、ハード整備の加速化・充実などに加え、流域全体で水害の軽減に取り組む「流域治水」の実効性を高める効果が期待される。

具体的には、雨水の流出量を増やす行為に対し、雨水を貯める、または浸透させる施

設の設置を義務付けるなど、流出の抑制が必要となる対象行為が追加されることで、流域全体の浸水対策が一層進むものと考えられる。

文教常任委員会

不登校児童生徒の教育機会確保を支援する条例の施行を踏まえ、県は、基本方針策定に当たって、不登校児童生徒のおかれた状況について、さらに詳しく実態を把握していくべきと考えるが、どのように取り組んでいくのか。

不登校児童生徒の状況は適切に把握するためには、フリースクール等の民間団体や教育支援センターと学校による緊密な連携が重要であることから、学校が捉えた不登校児童生徒の状況を市町村教育委員会が把握し、県教育委員会と共有することで全県的な把握に努めていく。

また、不登校児童生徒から、考えや悩み等、生の声を聞くことが重要だと考えており、さらに詳細に状況を把握し、支援の取り組みを推進していく。



常任委員会活動報告

常任委員会では、それぞれの所管する事項の審査の参考とするため、現場に出向いて調査活動を行っています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

千葉県 県内調査 検索

総合企画企業常任委員会 調査日：令和5年7月4日(火)

調査先：山倉ダム(市原市)、古都辺取水場(市原市)

山倉ダムおよび古都辺取水場の新エネルギーによる発電設備について

山倉ダムのフロート式メガソーラーおよび古都辺取水場の小水力発電設備を視察し、環境負荷の低減を目的とした新エネルギーによる発電設備の設置状況について調査しました。



古都辺取水場の小水力発電設備について説明を受ける委員

環境生活警察常任委員会 調査日：令和5年7月5日(水)

調査先：警察犬訓練所(成田市)

警察犬の活動概要および施設環境

直轄警察犬訓練所として建設された施設および警察犬の訓練や活動状況等について、調査しました。



警察犬の訓練の様子を視察する委員

商工労働常任委員会 調査日：令和5年7月6日(木)

調査先：マザー牧場グランピング THE FARM (富津市)、マザー牧場グランピング Green Base (君津市)

観光振興について

マザー牧場内にあるグランピング施設「THE FARM」を視察した後、グループ会社である鹿野山ゴルフ倶楽部のコースに隣接しているグランピング施設「Green Base」を視察しました。



マザー牧場にてグランピング施設の概要について説明を受ける委員

県土整備常任委員会 調査日：令和5年7月7日(金)

調査先：木更津港(木更津市)

木更津港の状況について

現在改修を進めている木更津港吾妻地区の整備状況および隣接する鳥居崎海浜公園の状況等について視察しました。



中の島大橋にて木更津港吾妻地区の整備状況について説明を受ける委員

ちば県議会だより

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

千葉県議会 質問項目 6月 検索

6月23日(金)



自民党 三沢 智 議員 (館山市)

マリッジレジャー
海岸清掃
保育所等における使用済みおむつの処分
不妊治療の相談



自民党 田中 幸太郎 議員 (市川市)

東京湾アクアライン
公共調達における発注者別評価点の活用
EPPMの推進
江戸川第一終末処理場

6月26日(月)



自民党 中村 実 議員 (船橋市)

道路問題
河川等の管理
動物愛護
HUAWEI



公明党 仲村 秀明 議員 (船橋市)

ヤングケアラー支援について
県立特別支援学校について
南船橋駅前の交番設置について
飯山満川の治水対策について



自民党 小路 正和 議員 (勝浦市・いすみ市・夷隅郡)

男女共同参画
洋上風力発電
自動車の盗難
キヨーン対策について



共産党 加藤 英雄 議員 (柏市)

敵基地攻撃能力の保有
新型コロナウイルス感染症5類引下げ
物価高騰対策及び消費税減税
インボイス導入
教員未配置

6月27日(火)



立憲民 野田 剛彦 議員 (船橋市)

不登校特例校
カスタマーハラスメント
感震ブレイカーの普及
骨髄移植におけるドナー支援事業



自民党 伊豆倉 雄太 議員 (市原市)

企業誘致
地域公共交通機関
観光行政
河川整備



自民党 伊藤 寛 議員 (習志野市)

下水道
河川の防災対策
県立高校の長寿命化
道路問題



自民党 小川 としゆき 議員 (千葉市若葉区)

千葉県と千葉市との関係
千葉県の観光
千葉県のスポーツ・文化振興
物流拠点としての千葉港の機能強化

6月28日(水)



立憲民 網中 肇 議員 (千葉市中央区)

メンタルヘルス対策の充実強化
獣医師の処遇改善と確保
児童相談所関係職員の確保育成
青葉の森公園の改修の推進



市民力 中西 香澄 議員 (松戸市)

交通安全対策
下水道事業
教員不足の解消
県立高校における空調設備



リベ民 秋葉 就一 議員 (八千代市)

東葉高速鉄道
新型コロナウイルス感染症
地球温暖化対策
マイナンバーカード



北総 岩波 初美 議員 (鎌ヶ谷市)

東京湾アクアラインの通行料金
児童相談所の運営改善
学習支援が必要な児童生徒への
通いの場の拡大



自民党 野田 宏規 議員 (流山市)

女性への支援
校則や児童生徒指導
県立市野谷の森公園
流山運動公園周辺地区の土地区画整備事業

6月29日(木)



自民党 松崎 太洋 議員 (柏市)

医療
県立柏の葉公園
つくばエクスプレス
柏警察署



千政団 須永 和良 議員 (君津市)

入札制度
君津市内の産業廃棄物最終処分場
小糸川の管理
農業問題



自民党 宮坂 奈緒 議員 (浦安市)

看護師確保対策
(仮称)堀江橋について
京葉線・りんかい線相互直通運転
自転車用ヘルメットの購入助成



無所属 西ヶ谷 正士 議員 (茂原市)

医療過疎地における医療提供
農業問題
河川改修
道路整備



自民党 坂下 しげき 議員 (市川市)

急病や事故から命を守る救命救急センターの指定
ホームドア設置の進捗状況
災害時に命を守る対策や農作物の被害予防
全ての県民に寄り添う政策



自民党 小池 正昭 議員 (成田市)

成田空港
国際会議
農業問題
県営住宅

6月定例県議会 知事あいさつ

このたび提案致しました案件は、各種条例案およびその他附帯議案の9議案の他、報告16件です。

最初に議案第1号から議案第5号までの5議案は、条例の制定および一部改正に係るものです。

議案第1号は、特定都市河川浸水被害対策法に基づき、雨水貯留浸透施設等の標識に明示する事項などを定めるため、条例を制定するものです。

議案第2号は、地方税法の一部改正に伴い、自動車税種別割のグリーン化特例を3年間延長するなどのため、議案第3号は、市に移管した施設の使用料を削除するため、議案第4号は、こども家庭庁の新設に伴う規定の整備を行うため、議案第5号は、県の高等技術専門校の名称をテクノスクールに変更するため、それぞれ条例の一部を改正するものです。

また、議案第6号および議案第7号は、都市計画道路の整備や県立船橋高校の改修工事等に係る契約を締結するため、議案第8号は、インフレスライド条項に基づき工事請負の契約金額を変更するため、議案第9号は、新型インフルエンザ対策に係る備蓄用治療薬を取得するため、それぞれ議会の議決を得ようとするものです。

◎千葉県誕生150周年記念事業

昨日、本県は明治6年6月15日の誕生から150周年の節目を迎えました。

当時100万人程度であった人口は、約630万人と約6倍に増加し、バランスの取れた産業県として成長を遂げてまいりました。本県の発展に尽くされた先人のご努力に対しまして、あらためて敬意を表するとともに、次世代に素晴らしい未来を残していく決意を新たに致しました。

今月11日にはオープニングイベント、記念式典を開催



し、本県のこれまでの歩みを映像で振り返るとともに、野外を活用したアートやアーバンスポーツの体験、全国屈指の農林水産物の紹介などにより、本県の持つ多様な魅力を発信したところです。

県議会議員をはじめ、県内外から多くの皆さまにご来場いただきましたことに、心から感謝申し上げます。

来年6月までの1年間、「県誕生から150年を振り返り、続いていく未来に思いを馳せる」をテーマに、市町村や企業・団体の皆さまと連携しながら、県内各地で記念事業を実施し、千葉県の未来を県民の皆さまと一緒に考える機会としたいと考えています。

首都圏にありながら、豊かな自然に恵まれた本県ならではの事業を展開していくことで、多くの皆さまに県内各地に足を運んでいただき、県民の皆さまの郷土への愛着や誇りを育むとともに、地域の活性化につなげてまいります。

この他、新湾岸道路について報告がありました。

知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧になれます。

千葉県議会 知事あいさつ 検索

令和5年9月定例県議会 会期および議事・委員会予定

Table with columns: 月日, 議事・委員会予定, 開議時間. Rows include dates from 9月13日(水) to 10月11日(水).

※本案はおおむねの日程であり、招集日前の議会運営委員会で協議されます。 ※傍聴される場合は、議会ホームページで最新の情報をご確認ください。

TV...チバテレで生放送されます。 PC...パソコン、スマートフォンなどでインターネット中継をご覧になれます。